

委員会レポート

常任委員会

産建文教 厳しい経済状況に緊急経済対策本部を設置



啓翁桜の枝切り作業

12月16日、委員会を開催し、請願1件並びに所管事務調査を行いました。
「国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める」請願は、今後の地域林業・木材産業の振興に必要と採択になりました。
産業振興課から、町内景況と緊急経済対策の状況、(財)白鷹町アルカディア財団の状況、畜産環境の現状について説明がありました。
町内の景況は、年末になり更に厳しい状況になっており、企業活動と町民生活の安定をはかるために、白

鷹町緊急経済対策本部を設置しました。
地場中小企業への金融対策、小規模維持工事の発注や農業団体等への原油高騰対策などを行うものです。
町内の雇用状況では、求人は例年の半分で非正規従業員の解雇も始まっています。
委員から、「大企業が下請けに配慮するよう国に要望すべきでは。」との質問に、町長は、「国の第2次補正の動き、県の動きを把握しながら対応し、雇用確保は積極的に要請します。」と答えました。
(財)アルカディア財団の状況に関して、委員から、「職員不補充などで頑張っているようですが、経理について税理士の指導・助言はどの程度ありますか。税理士を替えてみることもあるのではないですか。」という質問に、担当者は、「理事会で部門ごとに年間目標を設定しているが、経営に関する助言を専門家にお願ひし、新しい法人制度への対応も必要と考えています。」と答えました。
タナカ種畜牧場の悪臭問題に関して、委員から「現在の確約書や協定書の効力について精査をしているとのことですが、その目的は何ですか。」



人口増加にもつながる子育て支援住宅

という質問に、町長は「現在のものは数値目標や罰則がなく紳士協定的なものとして理解しています。専門家の意見を聞きながら解決策を検討します。」と答えました。

総務厚生 光ファイバー通信網の全町エリア整備実現に期待

12月12日、委員会を開催し、所管事務調査を行いました。
健康福祉課から、
①第5次高齢者保健福祉計画では、認知症の課題が大きいので地域での高齢者見守りを重点化して取り組んでいきます。
②第4期介護保険事業計画(計画素案)の介護保険料の改正については、介護報酬の引き上げも予定されており、所得段階や保険料率など今後の動向を見ながら決定します。
との説明を受けました。
総務政策課から、
①公共交通体系の今後については、町内全域をカバーしたデマンド型交通システムを中心に、住民混乗方式のスクールバスの導入などにより、交通空白地域の解消をはかっていきます。
②フラワー長井線については、利用拡大策を講じるとともに、県と沿線市町が一体となって経営改善に支援していきます。
③光ファイバー通信網について、近隣市町はほぼ全域に整備されている状況にあり、当町としてはN.T.T東日本を主体として整備を推進していく考えです。そのためには町民の34%(1700戸)の仮申込みが必要であり、町の組織や団体で構成する「白鷹町ブロードバンド実現の会」(仮称)の設立を検討して取り組んでいきます。



デマンドタクシー

④自然災害に対応する最近の緊急連絡体制の状況。
の報告を受けました。
町民税務課から、
①環境基本計画の町民アンケートの結果、数値指標の現状、工程スケジュールなどの状況。
②レジ袋の有料化については、現在までの取り組みの推移と21年4月1日から有料化を実施します。
との説明を受けました。

特別委員会

市町村合併検討特別委員会

近隣市町の動向

12月12日、委員会を開催し、委員長から、
長井市・南陽市・川西町・飯豊町2市2町の合併協議が不調に至ったことにより、平成22年3月までの新合併特例法の期限内での合併はなくなりそうです。
との報告を受けました。
当町としては、当面の間は近隣市町の動向を注視しながら、調査研究を継続することにしました。

